

電子納品ツール 地質・土質編

本書では、電子納品ツールで「地質・土質」
(BORING)フォルダーを作成する手順を
解説しています。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



1 地質・土質 (≠BORING)

地質・土質フォルダの作成について解説します。

－ 地質情報 (≠BORING) －

- 1-1. ボーリング交換用データの作成と登録
(BEDNNNN.XML) P.2
- 1-2. 電子柱状図の登録 P.4
- 1-3. 電子簡略柱状図の登録 P.6
- 1-4. ボーリングコア写真の登録 P.9

－ 土質試験及び地盤調査 (≠BORING≠TEST) －

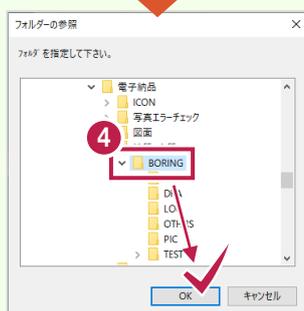
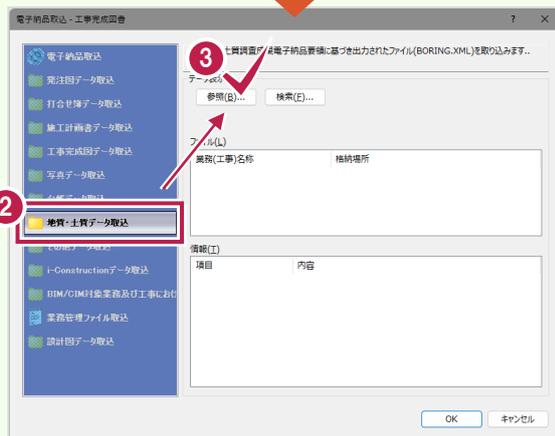
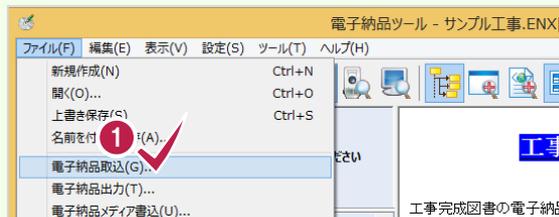
- 1-5. 電子データシートの登録 P.12
- 1-6. データシート交換用データの作成と登録
(TSNNNNMMM.XML) P.15
- 1-7. デジタル試料供試体写真の登録 P.17
- 1-8. グラフ・スケッチ等の画像データの登録..... P.20
- 1-9. 土質試験及び地盤調査ファイルの作成 P.23

メモ

他のプログラムで作成した地質・土質のデータ(BORING.XML)を取り込むこともできます

本プログラム以外のプログラムで作成した地質・土質のデータの取り込みは、[ファイル]－[電子納品取込]コマンドで行います。

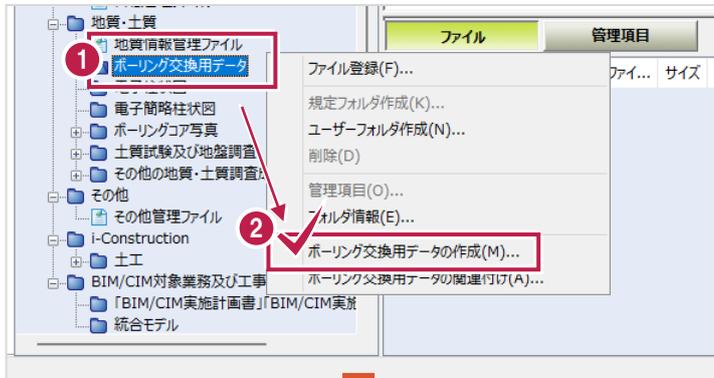
※選択した地質・土質のデータが、現在選択中の地質・土質の要領基準年度と異なる場合には取り込めません。



- 1 [ファイル]－[電子納品取込]コマンドを実行します。
- 2 [地質・土質データ取込]を選択します。
- 3 [参照]ボタンを押します。
- 4 "BORING.XML"が格納されているフォルダを選択します。
- 5 [OK]を押します。
現在開いているデータに、地質・土質のデータが取り込まれます。



ボーリング交換用データ(BEDNNNN.XML)の作成と、「ボーリング交換用データフォルダ」(¥DATA)への登録を行います。(NNNNは、ボーリング連番:0001から開始)



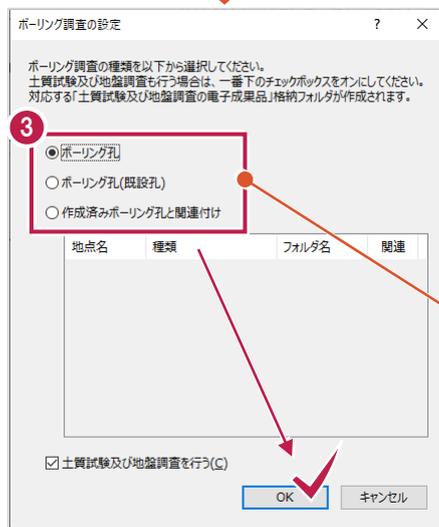
1 ツリー部で、「ボーリング交換用データ」フォルダ(¥DATA)を選択します。

2 マウスを右クリックします。
表示されたポップアップメニューから、[ボーリング交換用データの作成]コマンドを選択します。

3 [ボーリング調査の設定]ダイアログが表示されます。
作成する柱状図の種類を選択します。

4 [ボーリング交換用データ作成]ダイアログが表示されます。
柱状図のデータを入力します。

5 データを入力し終えたら、[保存]ボタンを押します。



[ボーリング孔]

新規のボーリング調査の場合に選択します。
[土質試験及び地盤調査を行う]チェックボックスを「オン」にすると、「BORING-TEST」に、関連付けられた「ボーリング孔フォルダ」(BRGxxxx)が新規作成されます。※1

[ボーリング孔(既設孔)]

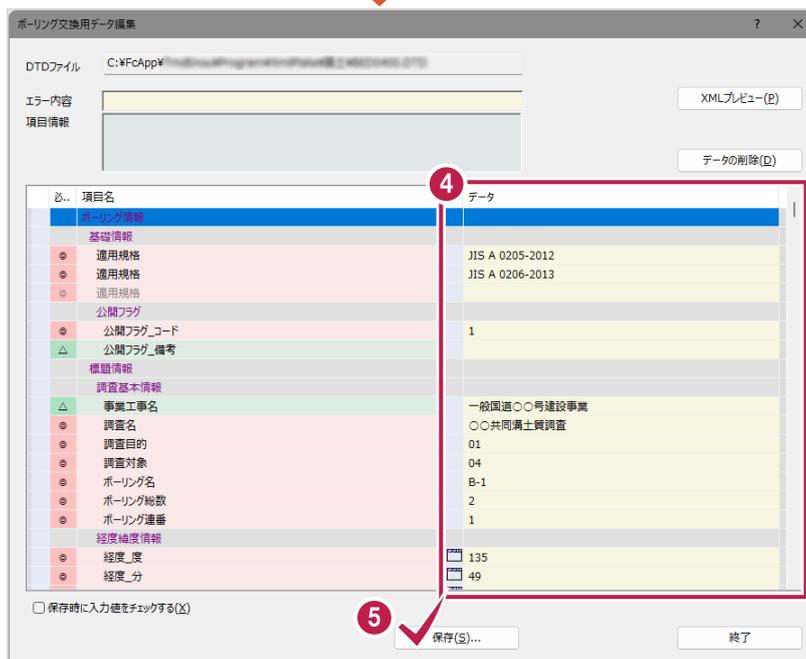
既設孔のボーリング調査の場合に選択します。
[土質試験及び地盤調査を行う]チェックボックスを「オン」にすると、「BORING-TEST」に、関連付けられた「ボーリング孔(既設孔)フォルダ」(BRGxxxxA)が新規作成されます。※1

[作成済みボーリング孔と関連付け]

作成する「ボーリング交換用データ」を、「BORING-TEST」に作成済みのボーリング孔フォルダと関連付ける場合に選択します。

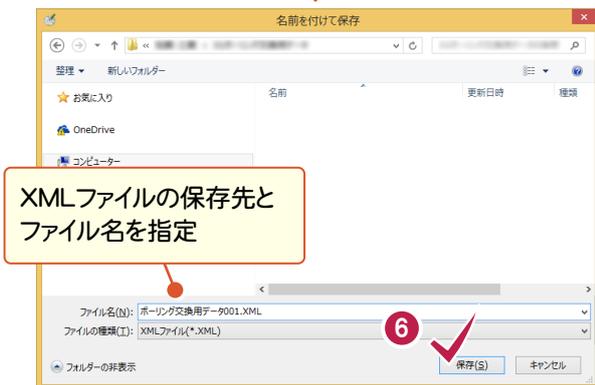
下のリストから関連付けるフォルダを選択します。既に他の「ボーリング交換用データ」と関連付けられているフォルダは、「関連」セルに「済」と表示されます。

※1:xxxx は、0001から開始する連番

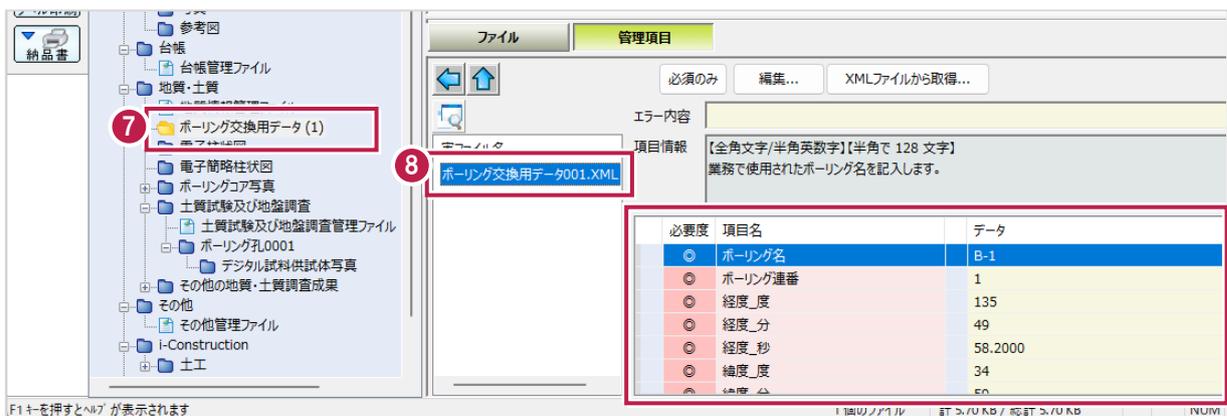


次ページへ

続き ↓



- 6 作成したボーリング交換用データ (BEDNNNN.XML) の保存先とファイル名を指定して、[保存] ボタンを押します。
- 7 ボーリング交換用データ(XML) ファイルが保存されます。同時に「ボーリング交換用データフォルダ」(≠DATA) に登録されます。
- 8 登録されたボーリング交換用データを選択して、管理項目を入力します。

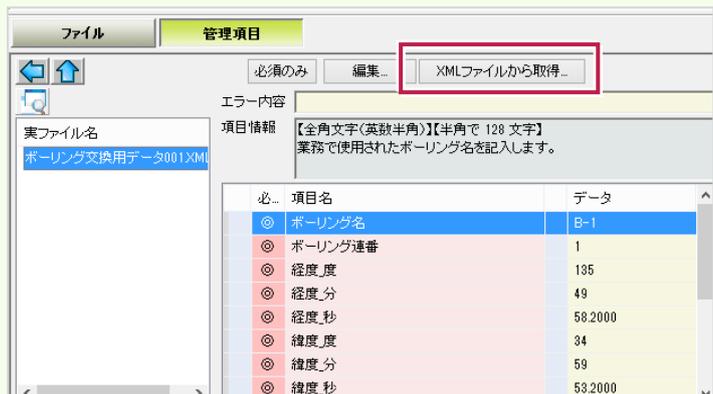


メモ

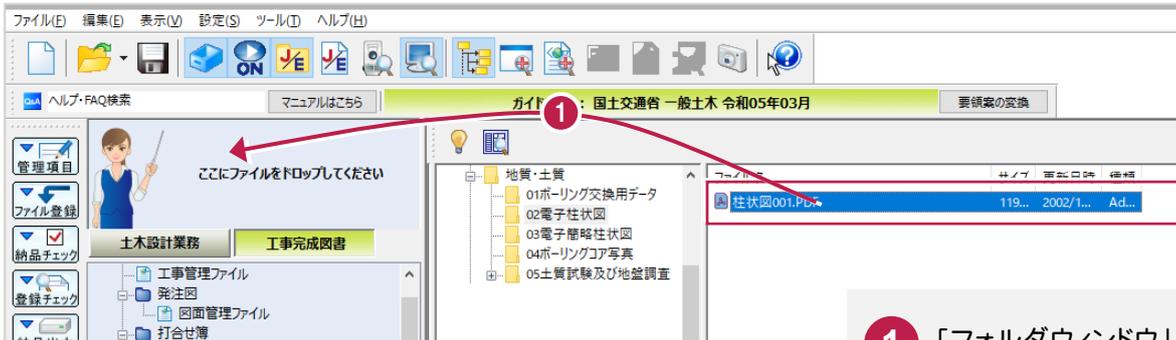
[XMLファイルから取得] ボタンで、管理項目を取得できます

[XMLファイルから取得] ボタンを押すと、ボーリング交換用データ(XML) から、管理項目を取得することができます。

入力ミスを防ぐため、[XMLファイルから取得] ボタンを使用することをお勧めします。

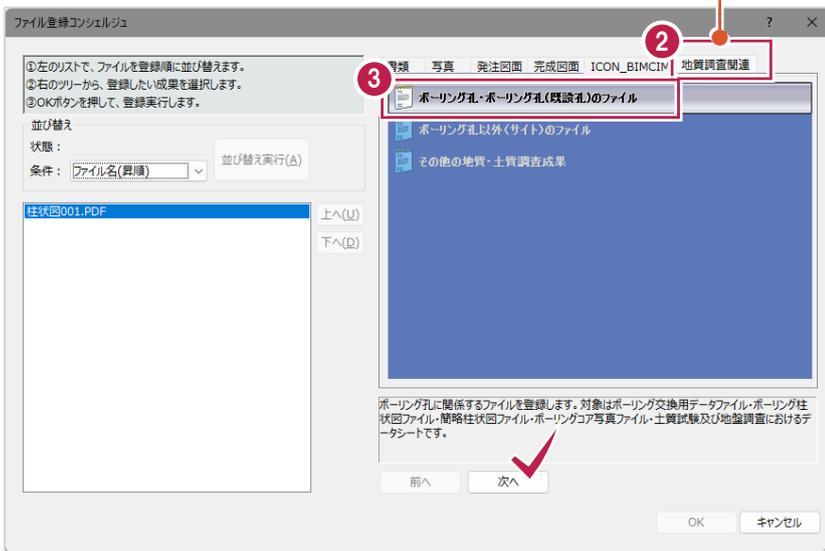


作成済みの電子柱状図(PDF)を、「電子柱状図フォルダ」(≠LOG)に登録します。



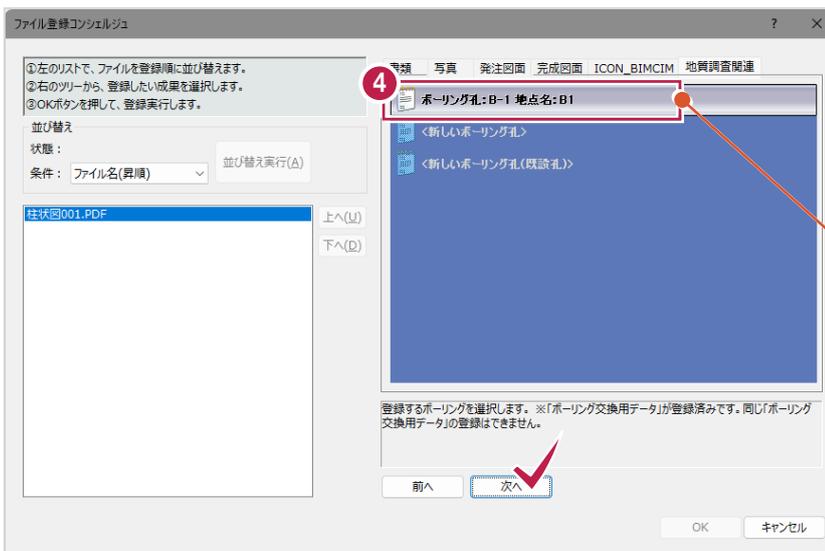
[地質調査関連]タブを選択します。

1 「フォルダウィンドウ」から電子柱状図ファイルを「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。



2 「ファイル登録コンシェルジュ」で[地質調査関連]タブを選択します。

3 [ボーリング孔・ボーリング孔(既設孔)のファイル]を選択して、[次へ]を押します。

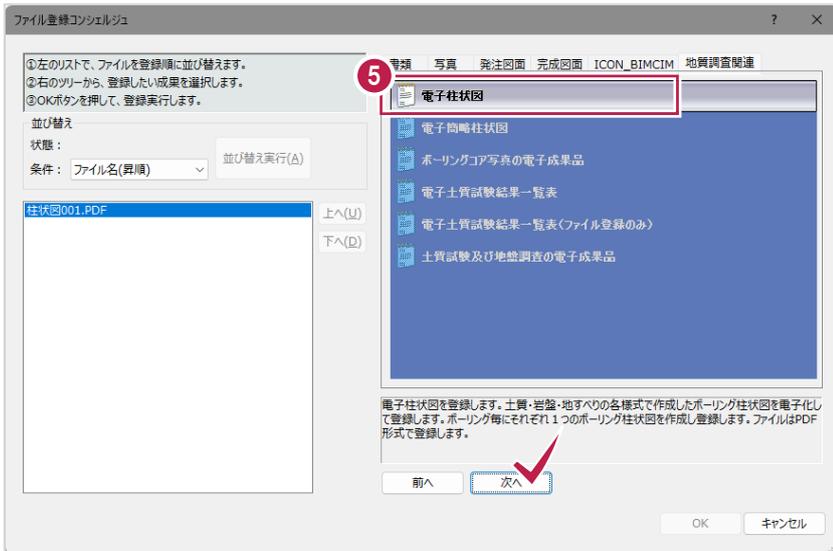


4 電子柱状図を登録するボーリング孔を選択して、[次へ]を押します。

前述「ボーリング交換用データの作成」で作成したボーリング孔です。

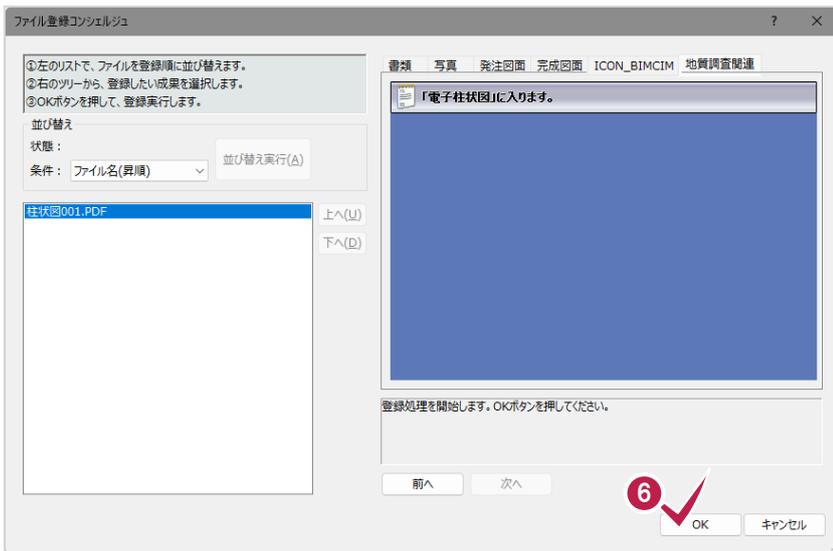
次ページへ

続き ↓



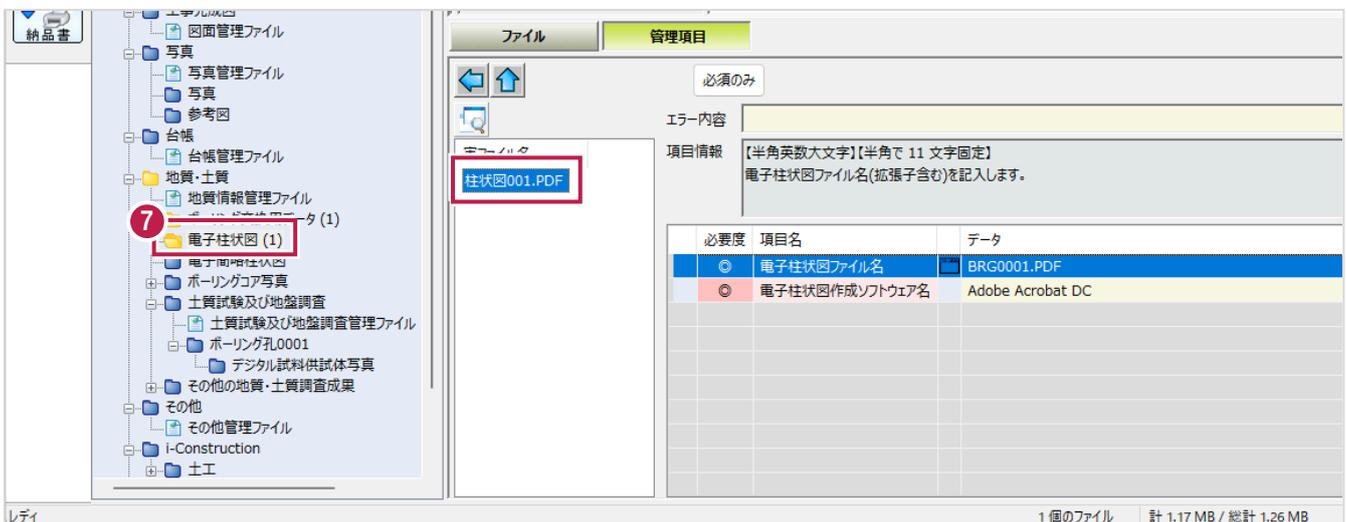
5 「電子柱状図」を選択して、「次へ」を押します。

↓



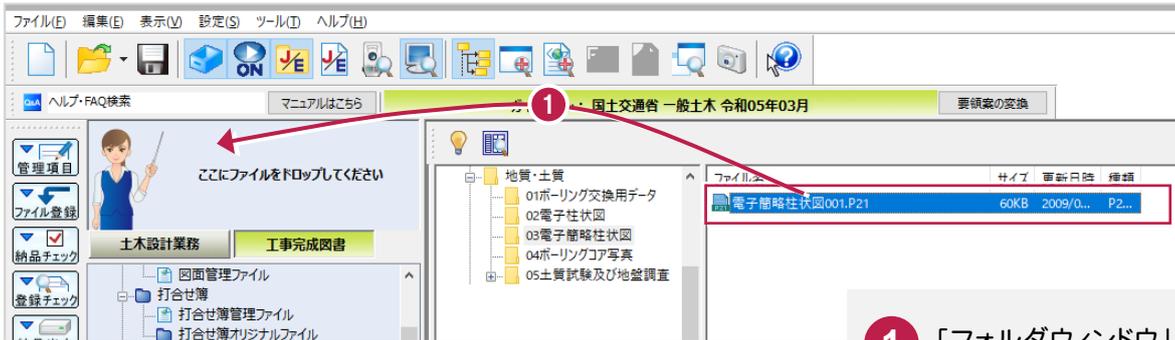
6 「OK」を押します。

↓



7 電子柱状図が「電子柱状図フォルダ」(¥LOG)に登録されます。

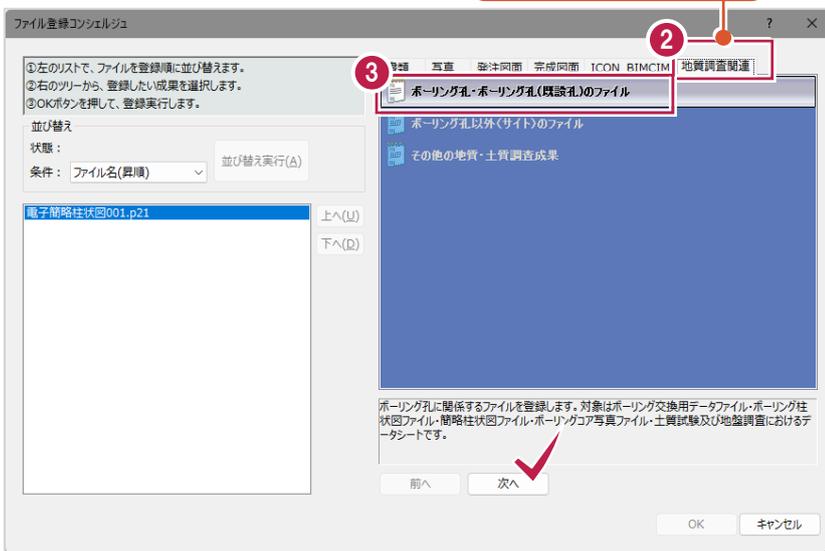
作成済みの電子簡略柱状図を、「電子簡略柱状図フォルダ」(¥DRA)に登録します。



1 「フォルダウィンドウ」から電子簡略柱状図を「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。

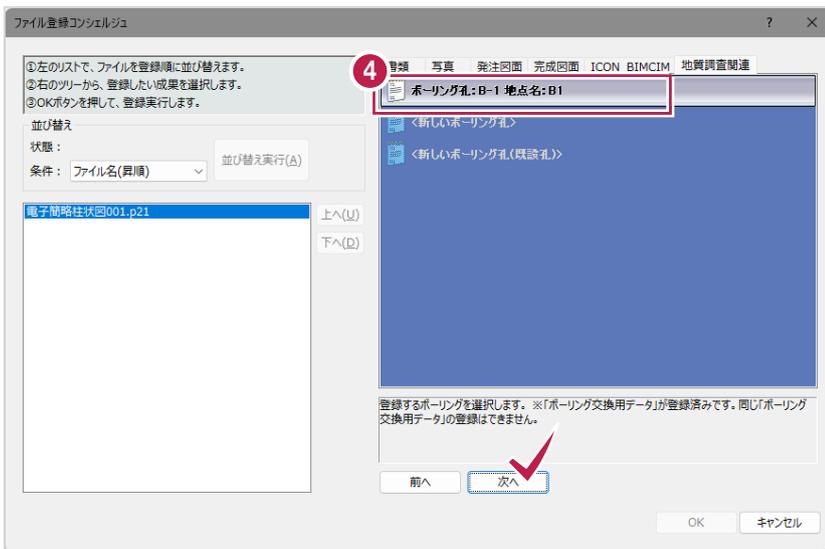


[地質調査関連]タブを選択します。



2 「ファイル登録コンシェルジュ」で [地質調査関連] タブを選択します。

3 [ボーリング孔・ボーリング孔(既設孔)のファイル] を選択して、[次へ] を押します。

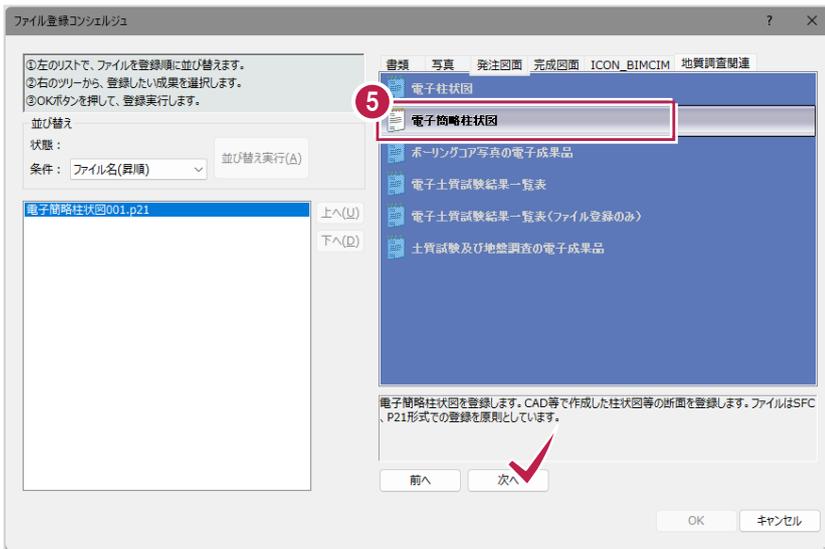


4 電子簡略柱状図を登録するボーリング孔を選択して、[次へ] を押します。

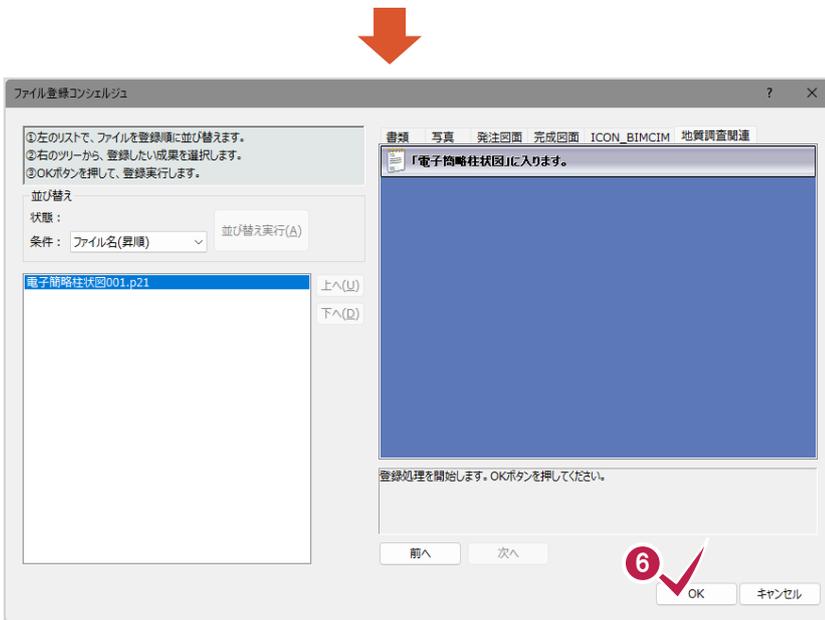


次ページへ

続き ↓

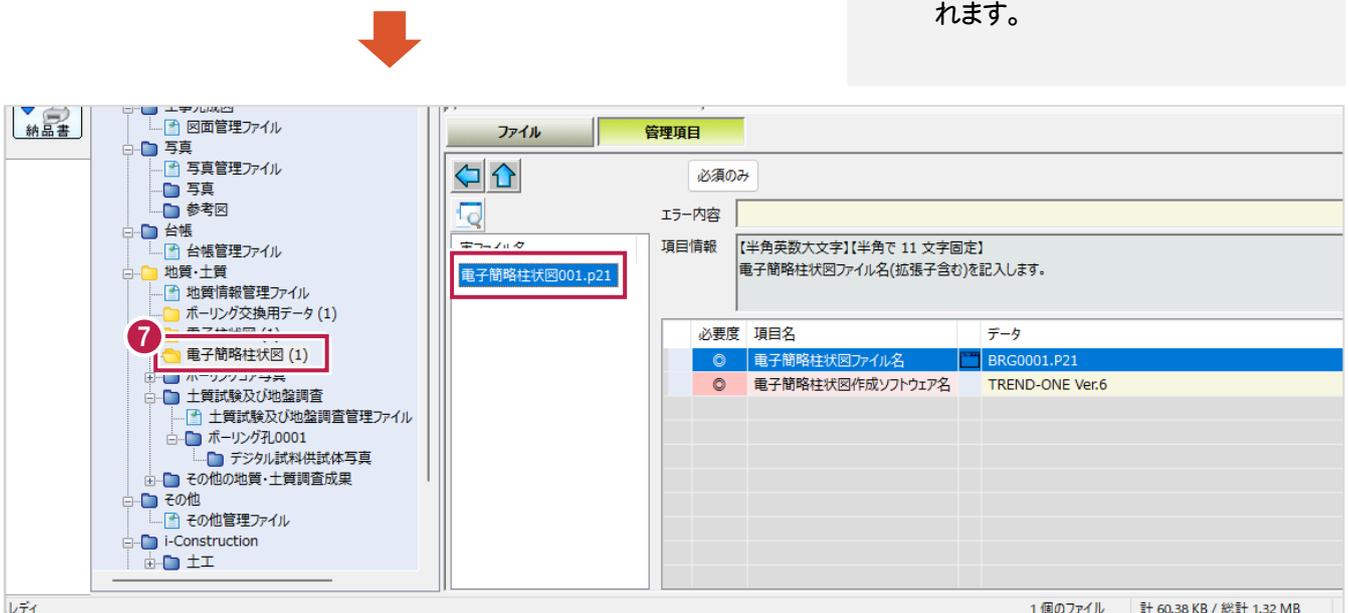


5 [電子簡略柱状図]を選択して、
[次へ]を押します。



6 [OK]を押します。

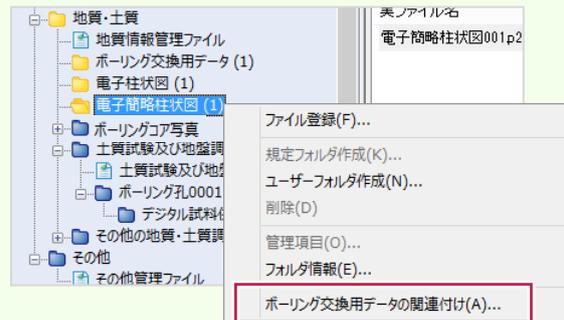
7 電子簡略柱状図が「電子簡略柱状図」フォルダ(¥DRA)に登録されます。



ボーリング交換用データと、電子柱状図／電子簡略柱状図の関連付けについて

「ファイル登録コンシェルジュ」で登録する際に、登録するボーリング孔を選択することで、ボーリング交換用データと電子柱状図／電子簡略柱状図は自動的に関連付けられます。

3つのファイルの関連付けを後で変更する場合は、ツリー部の「ボーリング交換用データ」・「電子柱状図」・「電子簡略柱状図」のいずれかのフォルダを右クリックして表示されるポップアップメニューから、[ボーリング交換用データの関連付け]コマンドを実行してください。(右図参照)



[登録] ボタン

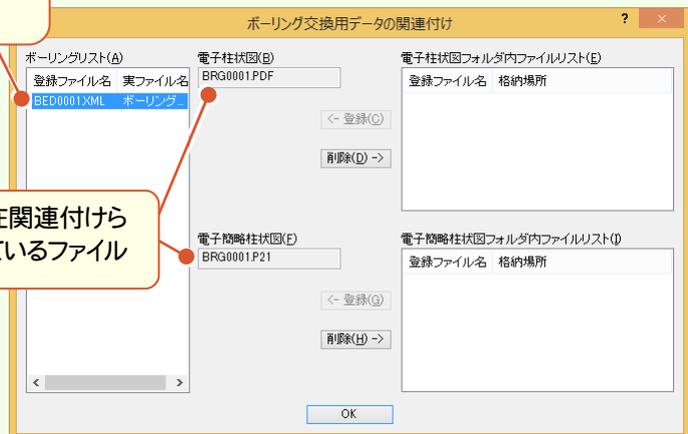
右側のリストで選択されている「電子柱状図」・「電子簡略柱状図」を、左側のリストで選択されている「ボーリング交換用データ」に関連付けます。

[削除] ボタン

左側のリストで選択されている「ボーリング交換用データ」に関連付けられている「電子柱状図」・「電子簡略柱状図」を解除します。

ボーリング交換用データ

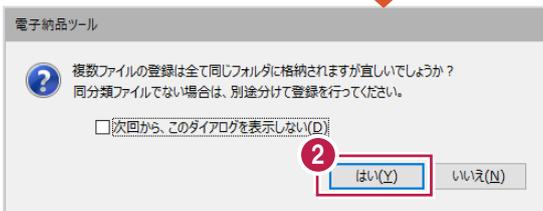
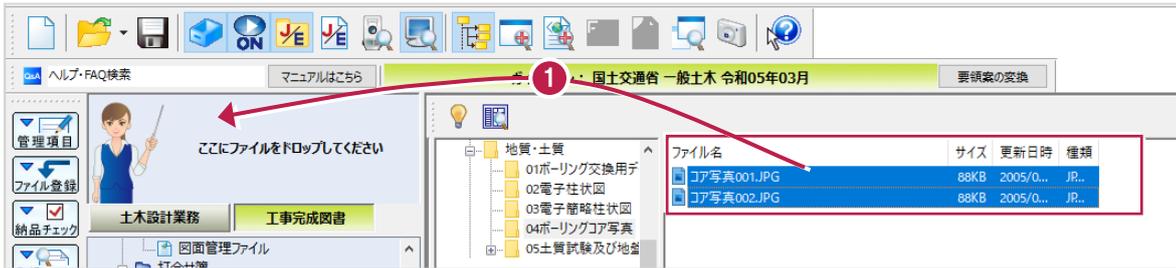
現在関連付けられているファイル



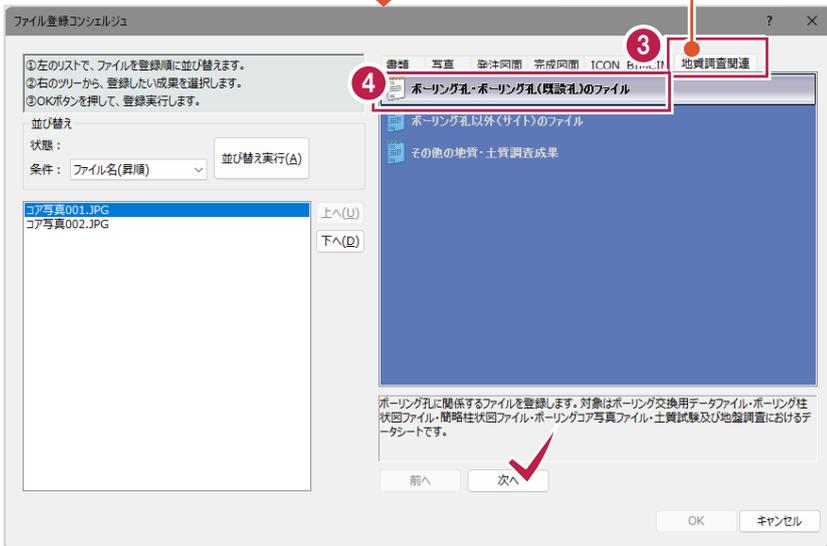
1-4

ボーリングコア写真の登録

撮影したコア写真を、「ボーリングコア写真フォルダ」(¥PIC)に登録します。



[地質調査関連]
タブを選択します。

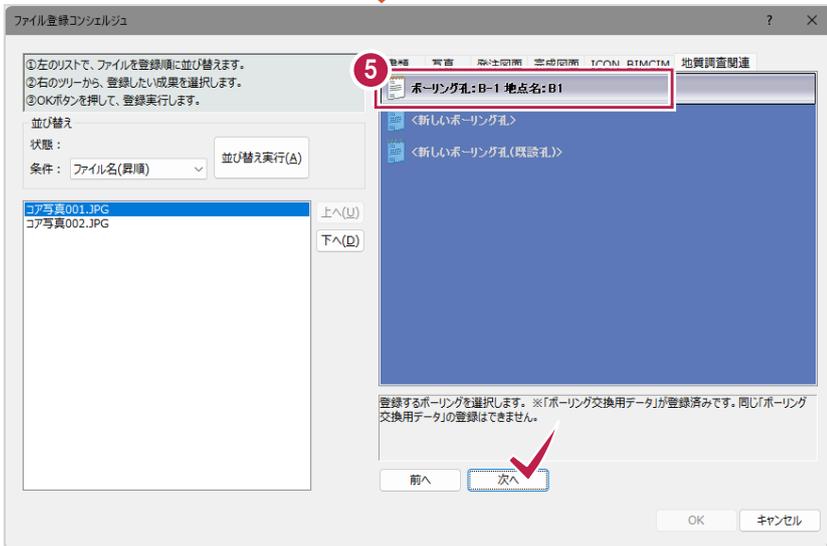


1 「フォルダウィンドウ」からボーリングコア写真を「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。

2 [はい]を押します。

3 「ファイル登録コンシェルジュ」で[地質調査関連]タブを選択します。

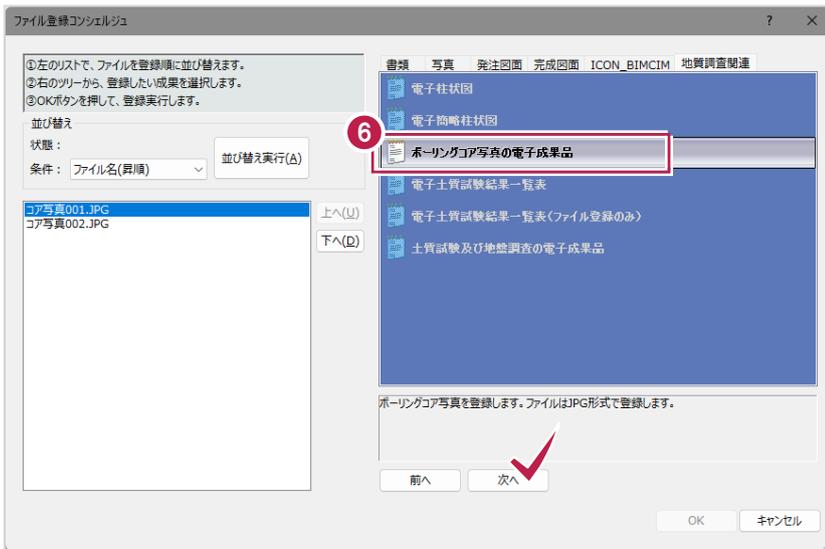
4 [ボーリング孔・ボーリング孔(既設孔)のファイル]を選択して、[次へ]を押します。



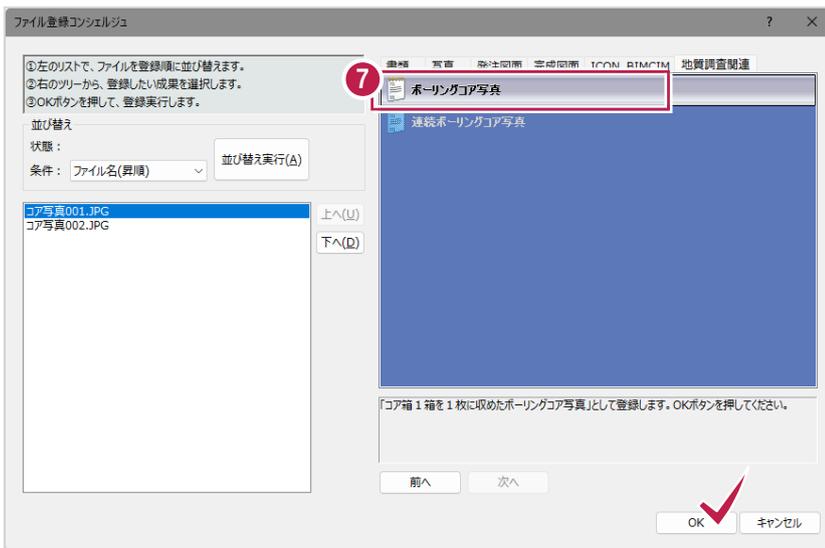
5 ボーリングコア写真を登録するボーリング孔を選択して、[次へ]を押します。

次ページへ

続き ↓



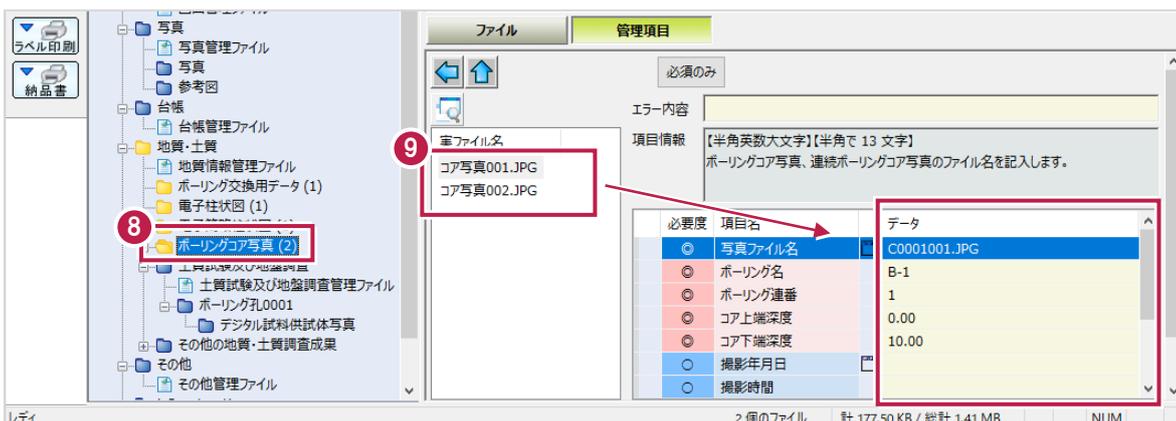
6 [ボーリングコア写真の電子成果品]を選択して、[次へ]を押します。



7 登録する写真を選択して、[OK]を押します。

8 ボーリングコア写真が「コア写真フォルダ」(¥PIC)に登録されます。

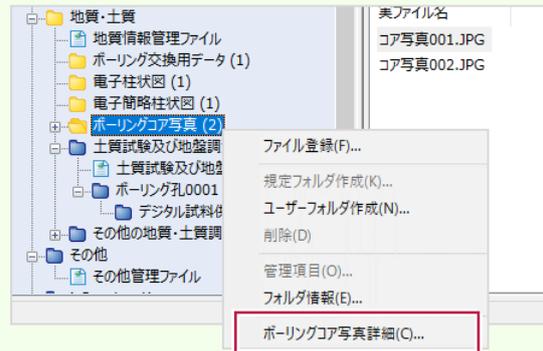
9 登録された写真を選択して、管理項目を入力します。



ボーリング交換用データと、コア写真／連続コア写真の関連付けについて

「ファイル登録コンシェルジュ」で登録する際に、登録するボーリング孔を選択することで、ボーリング交換用データとコア写真／連続コア写真は自動的に関連付けられます。

「ボーリング交換用データ」と「コア写真」・「連続コア写真」の関連付けを後で変更する場合は、ツリー部の「ボーリングコア写真」フォルダを右クリックして表示されるポップアップメニューから、「ボーリングコア写真詳細」コマンドを実行してください。(右図参照)



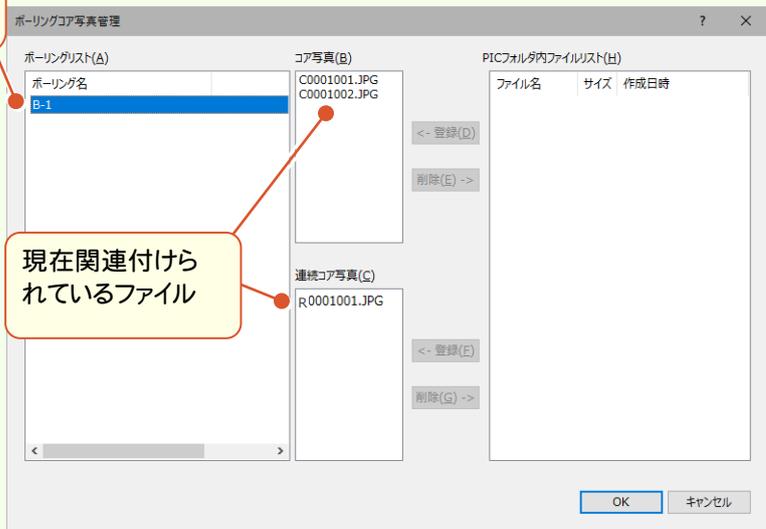
[登録] ボタン

右側のリストで選択されている「コア写真」・「連続コア写真」を、左側のリストで選択されている「ボーリング交換用データ」に関連付けます。

[削除] ボタン

左側のリストで選択されている「ボーリング交換用データ」に関連付けられている「コア写真」・「連続コア写真」を解除します。

ボーリング交換用データ

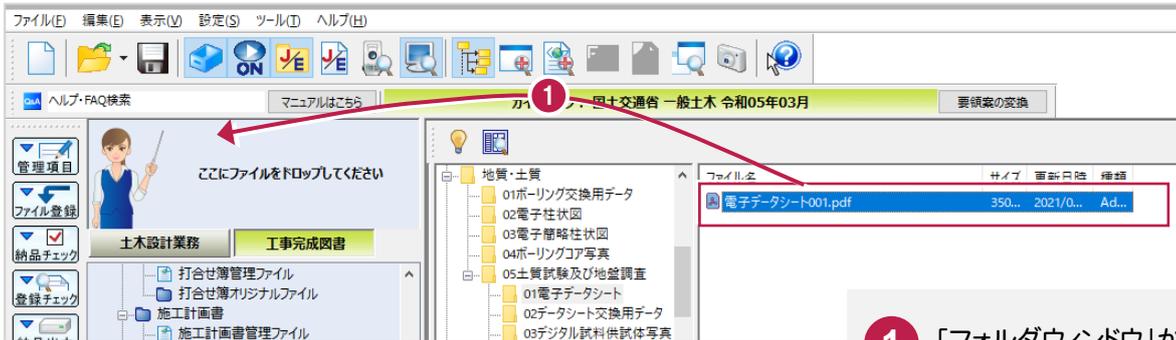


現在関連付けられているファイル

1-5

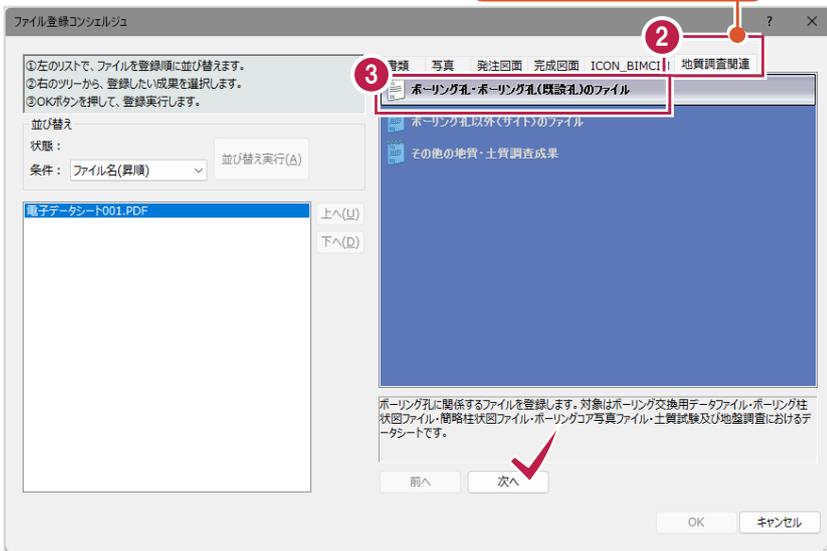
電子データシートの登録

土質試験及び地盤調査(≠BORING≠TEST)に、作成済みの電子データシートを登録します。



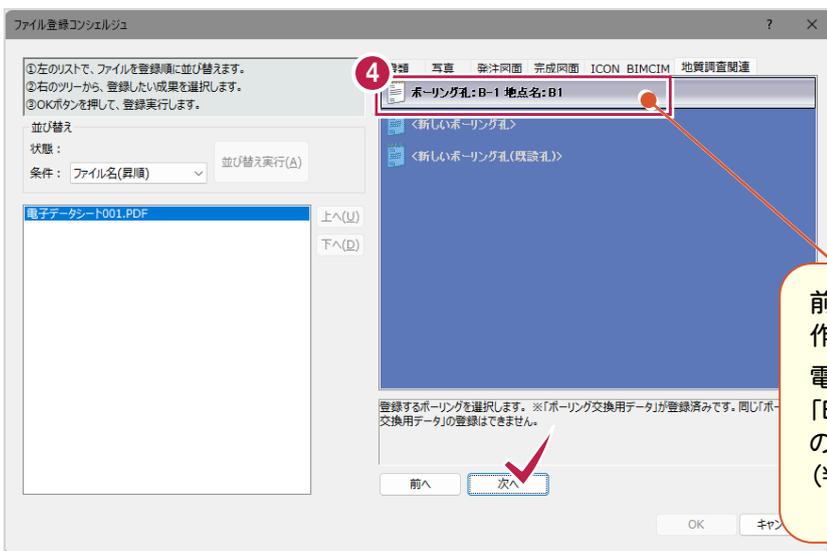
1 「フォルダウィンドウ」から電子データシートを「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。

[地質調査関連]タブを選択します。



2 「ファイル登録コンシェルジュ」で[地質調査関連]タブを選択します。

3 [ボーリング孔・ボーリング孔(既設孔)のファイル]を選択して、[次へ]を押します。

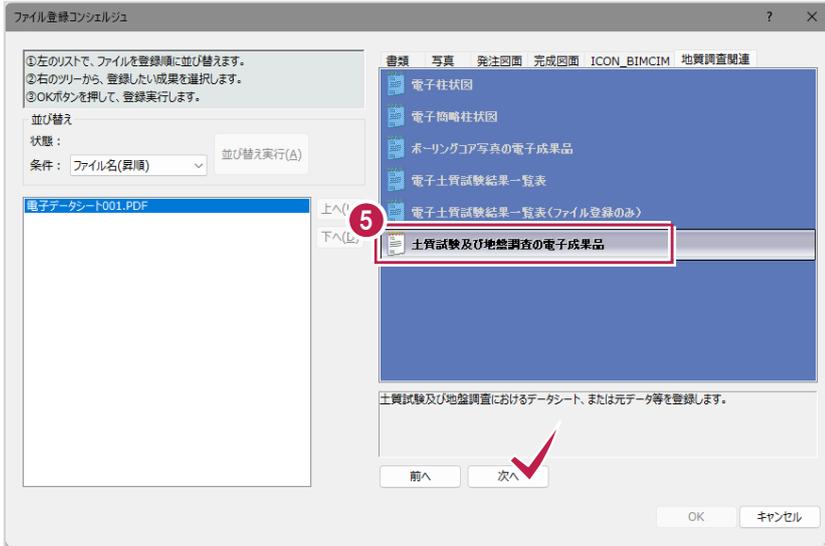


4 電子データシートを登録するボーリング孔を選択して、[次へ]を押します。

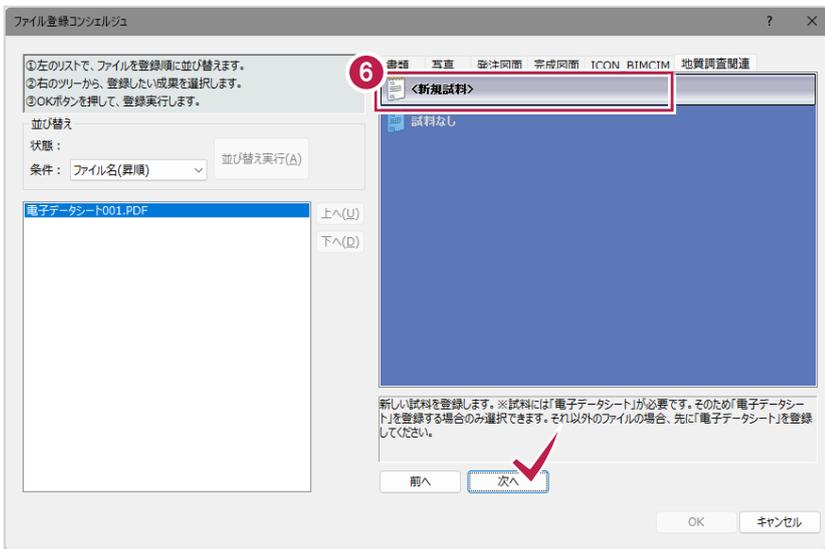
前述「ボーリング交換用データの作成」で作成したボーリング孔です。電子データシート(PDF)は、「BORING-TEST」フォルダの下層の「ボーリング孔0001」フォルダ(≠BRG0001)に登録されます。

次ページへ

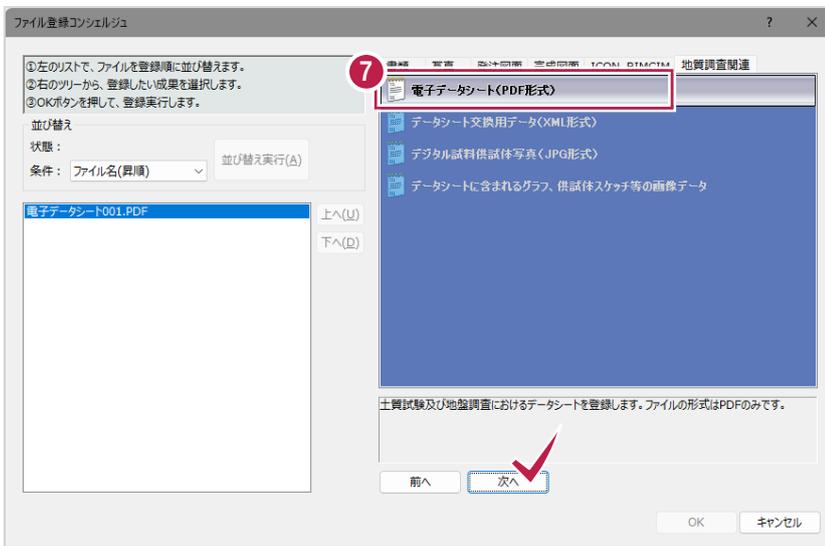
続き ↓



5 [土質試験及び地盤調査の電子成果品]を選択して、[次へ]を押します。



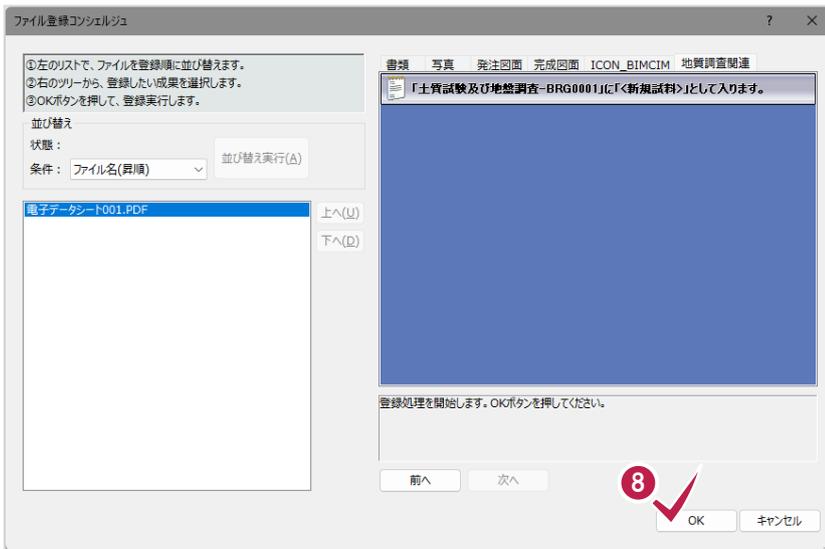
6 [<新規試料>]を選択して、[次へ]を押します。



7 [電子データシート(PDF形式)]を選択して、[次へ]を押します。

↓ 次ページへ

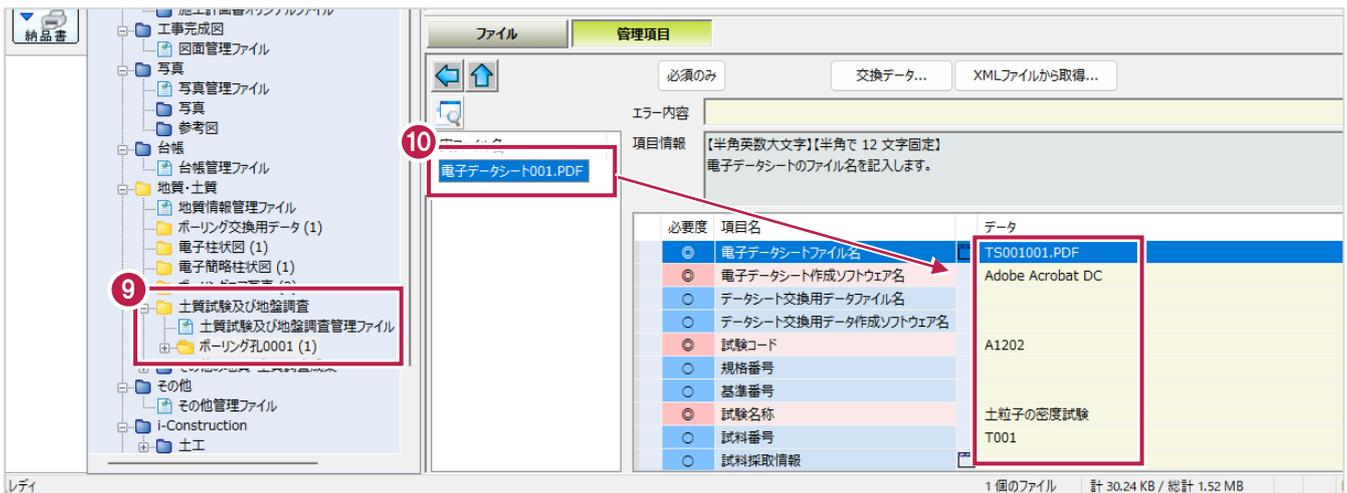
続き ↓



8 [OK]を押します。

9 「ボーリング孔0001」フォルダ (¥BRG0001)に、電子データシートが登録されます。

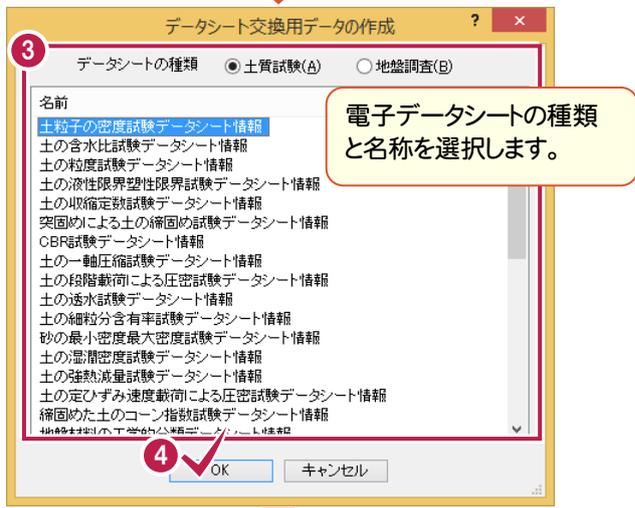
10 登録された電子データシートを選択して、管理項目を入力します。



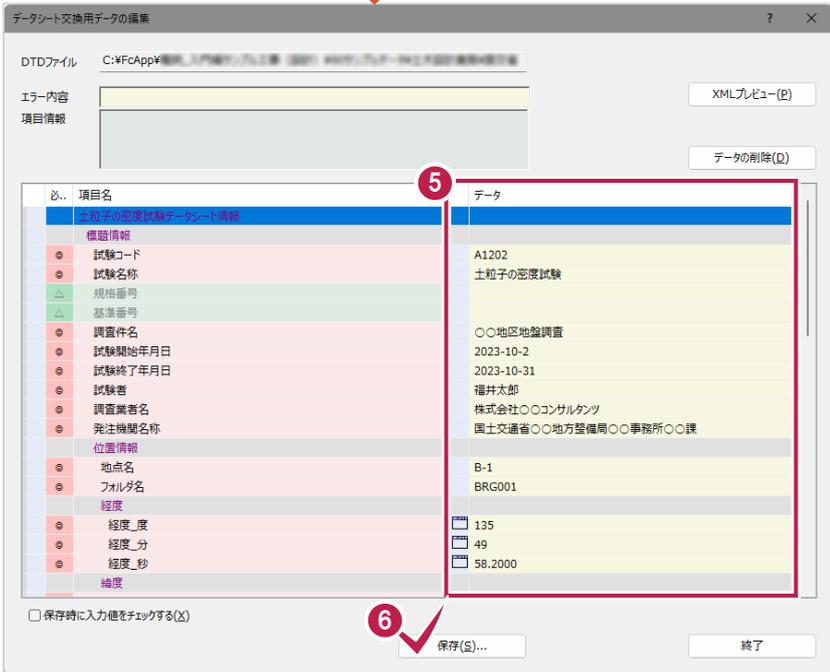
1-6

データシート交換用データの作成と登録 (TSNNNMMM.XML)

電子データシート(PDF)のデータシート交換用データ(TSNNNMMM.XML)を作成します。
(NNNNは試料連番、MMMは試験連番)



- 1 交換用データを作成する電子データシート(PDF)を選択します。
- 2 [交換データ]ボタンを押します。
- 3 電子データシートの種類と名称を選択します。
- 4 [OK]ボタンを押します。



- 5 [データシート交換用データの作成]ダイアログが表示されます。各項目にデータを入力します。
- 6 データを入力し終わったら、[保存]ボタンを押します。

次ページへ

続き

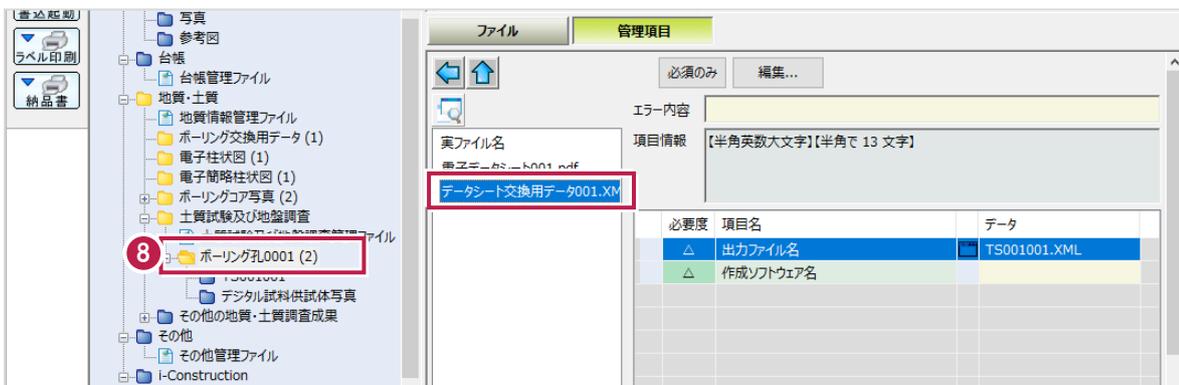


XMLファイルの保存先と
ファイル名を指定



7 作成したデータシート交換用データファイルの保存先とファイル名を指定して、[保存]ボタンを押します。

8 データシート交換用データファイル(TSNNNMMM.XML)が保存されます。
同時に電子データシート(PDF)と同じフォルダに登録されます。



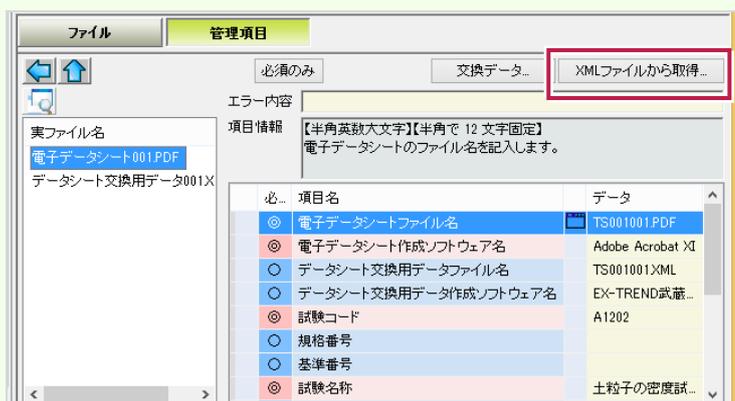
メモ

【XMLファイルから取得】ボタンで、管理項目を取得できます

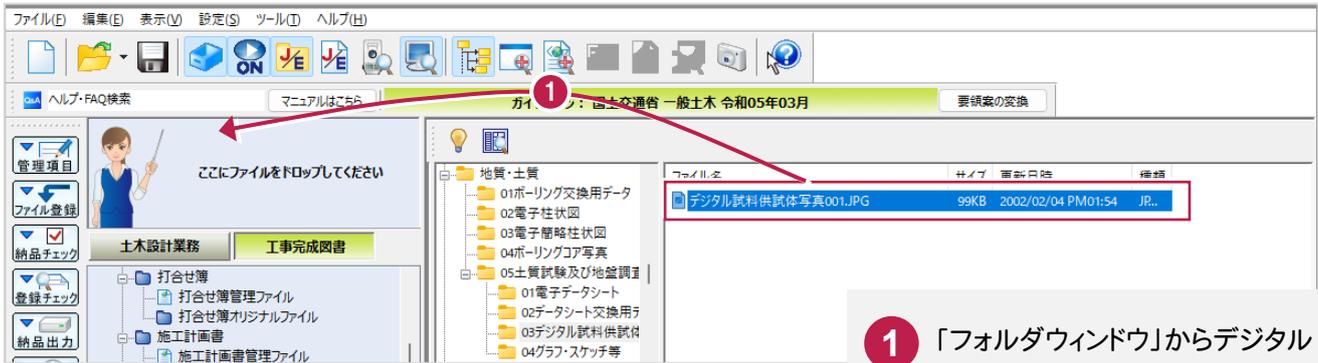
「電子データシート(PDF)」と「データシート交換用データ(XML)」の両方が登録されている場合は、電子データシート(PDF)を選択した時に【XMLファイルから取得】ボタンが使用できます。

【XMLファイルから取得】ボタンを押すと、データシート交換用データ(XML)から、管理項目を取得することができます。

入力ミスを防ぐため、【XMLファイルから取得】ボタンを使用することをお勧めします。



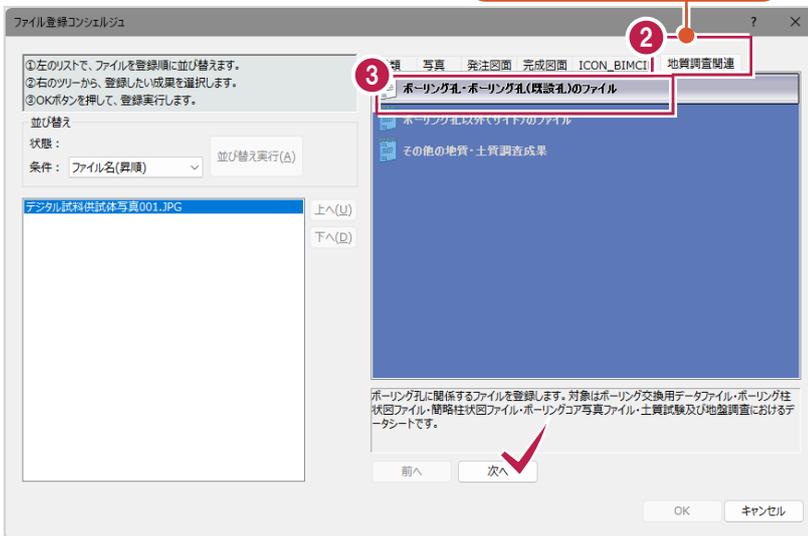
撮影したデジタル試料供試体写真を、「デジタル試料供試体写真フォルダ」(¥TESTPIC)に登録します。



1 「フォルダウィンドウ」からデジタル試料供試体写真を「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。

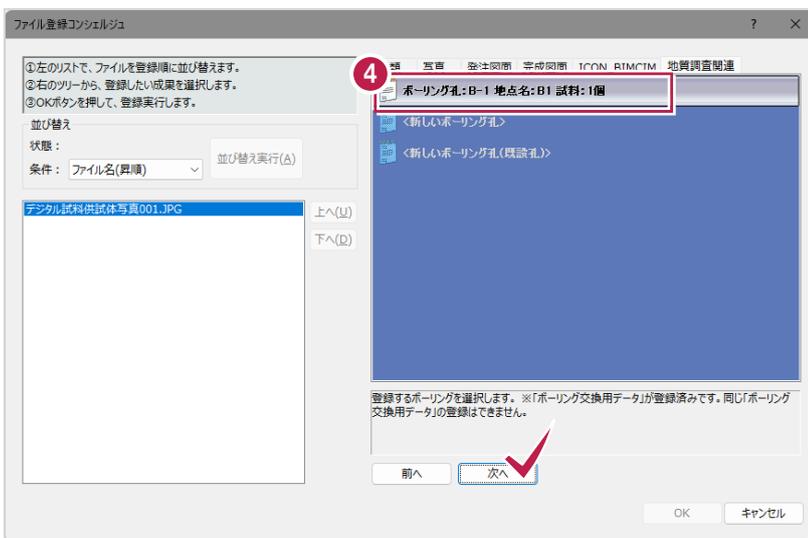


[地質調査関連]タブを選択します。



2 「ファイル登録コンシェルジュ」で [地質調査関連] タブを選択します。

3 [ボーリング孔・ボーリング孔(既設孔)のファイル] を選択して、[次へ] を押します。

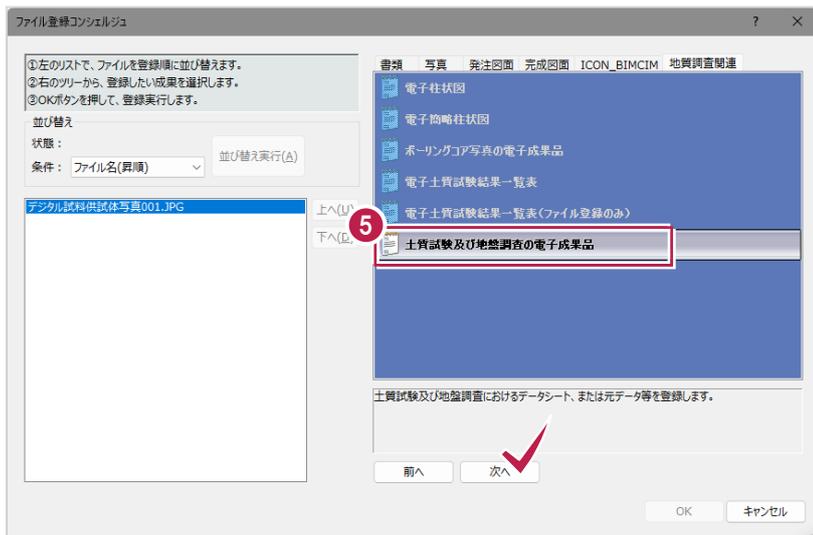


4 デジタル試料供試体写真を登録するボーリング孔を選択して、[次へ] を押します。



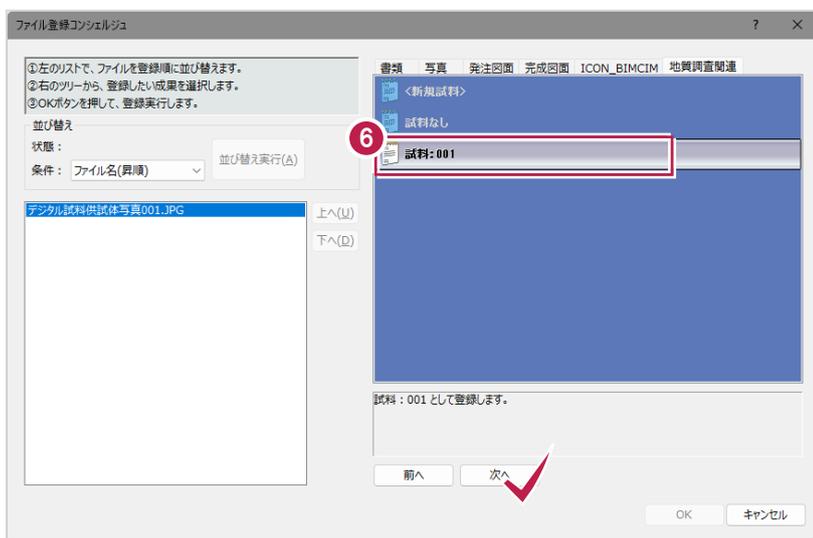
次ページへ

続き



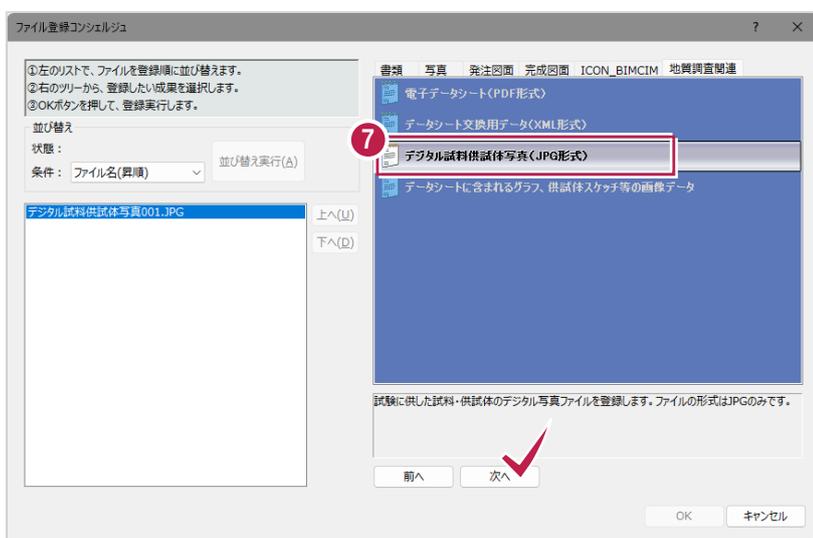
5

[土質試験及び地盤調査の電子成果品]を選択して、[次へ]を押します。



6

デジタル試料供試体写真を登録する試験を選択して、[次へ]を押します。



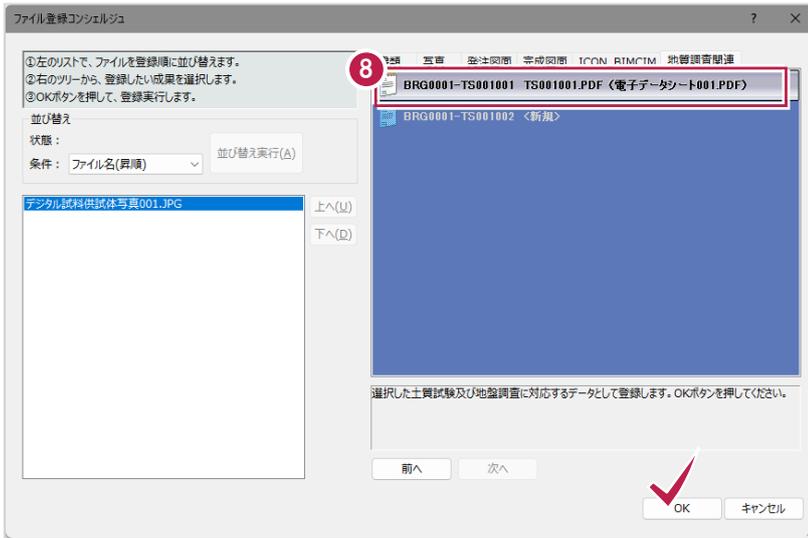
7

[デジタル試料供試体写真(JPG形式)]を選択して、[次へ]を押します。



次ページへ

続き

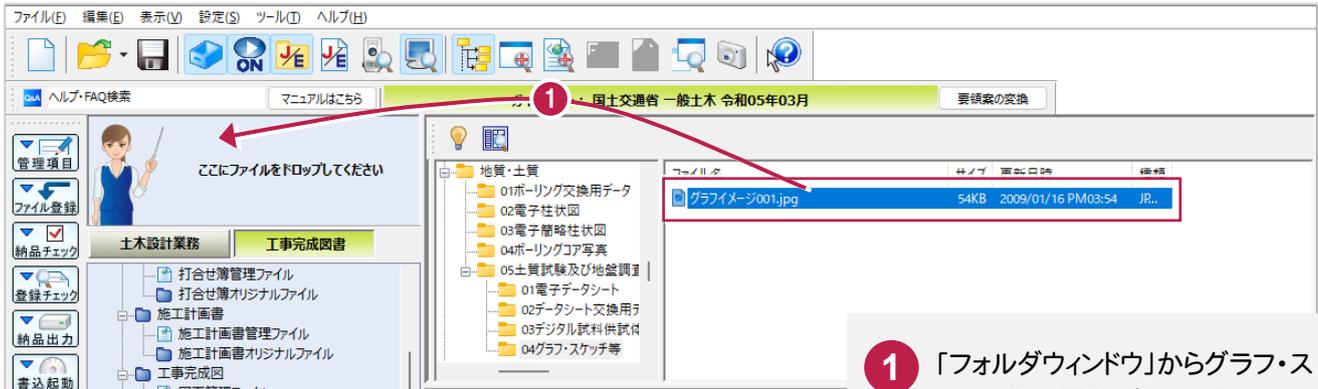


8 デジタル試料供試体写真を登録する電子データシートを選択して、[OK]を押します。

9 選択した電子データシートが登録されているフォルダ内の「デジタル試料供試体写真フォルダ」(¥TESTPIC)に、写真が登録されます。

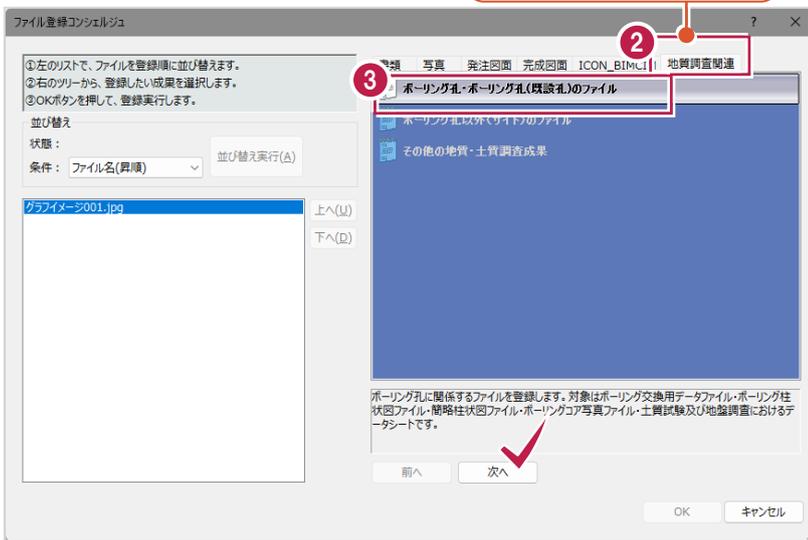


グラフ・スケッチ等の画像データを、「試料及び試験ごとのサブフォルダ」(¥TSNNNMMM)に登録します。



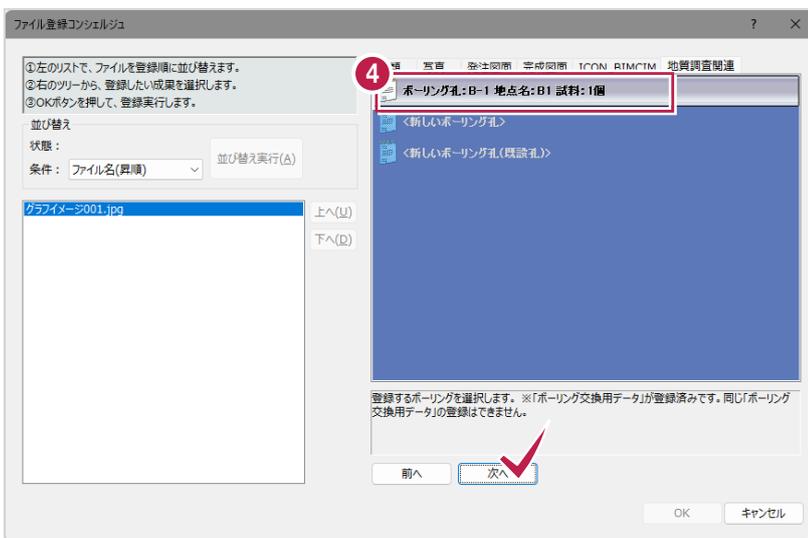
1 「フォルダウィンドウ」からグラフ・スケッチ等の画像データを「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。

[地質調査関連]タブを選択します。



2 「ファイル登録コンシェルジュ」で[地質調査関連]タブを選択します。

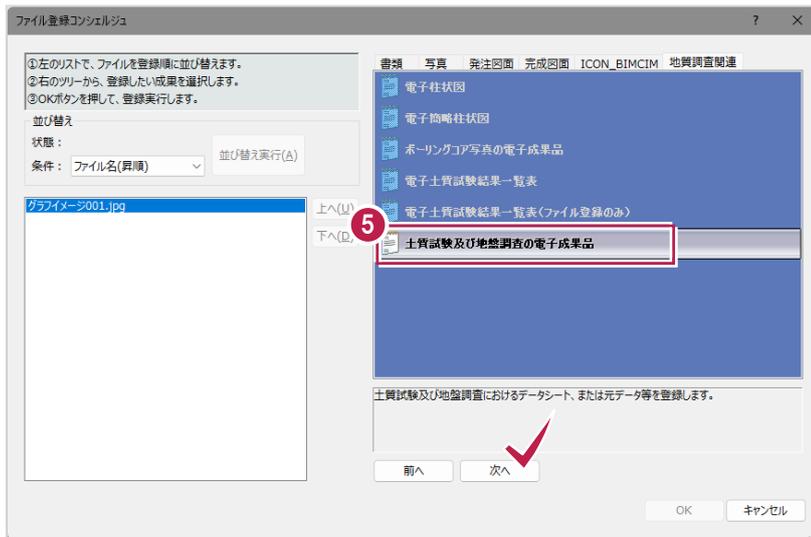
3 [ボーリング孔・ボーリング孔(既設孔)のファイル]を選択して、[次へ]を押します。



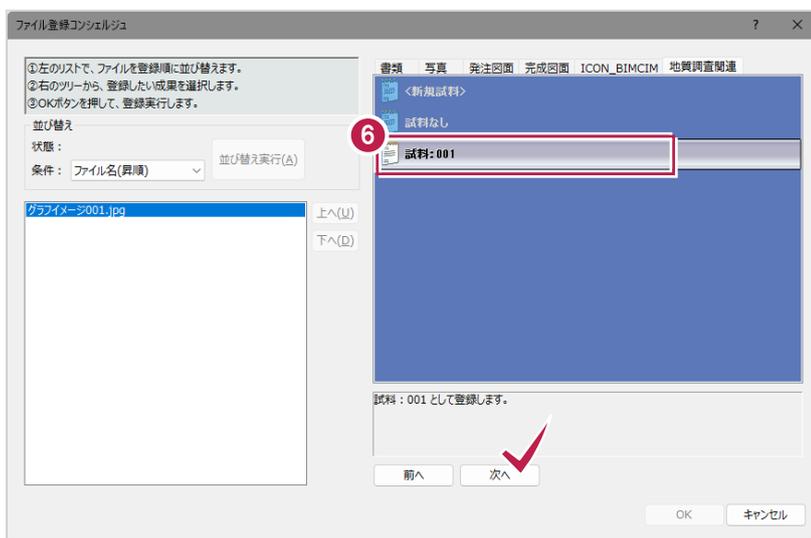
4 グラフ・スケッチ等を登録するボーリング孔を選択して、[次へ]を押します。

次ページへ

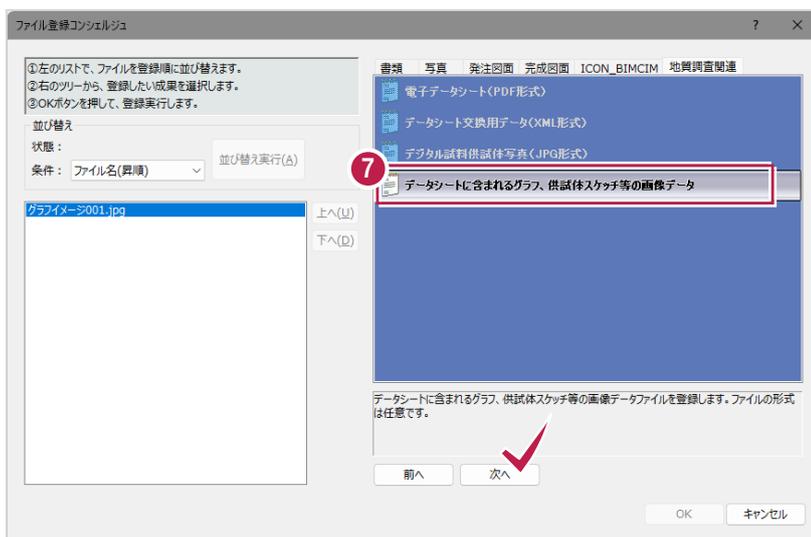
続き



5 [土質試験及び地盤調査の電子成果品]を選択して、[次へ]を押します。



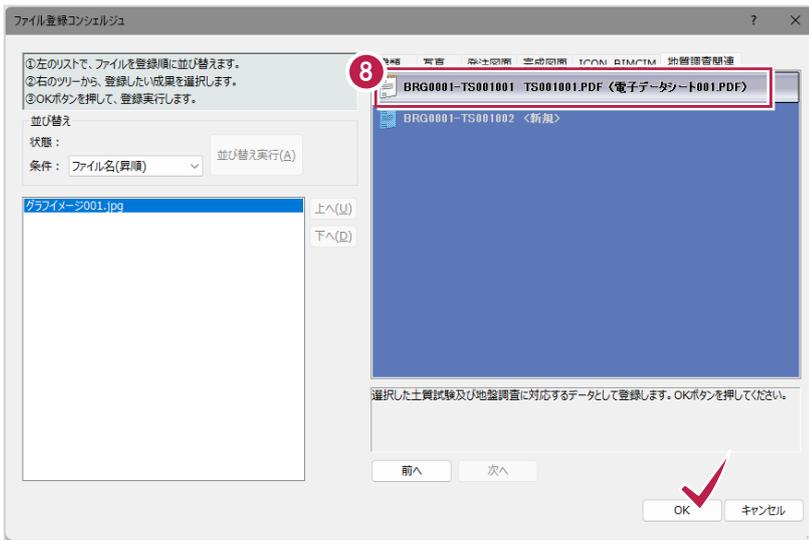
6 グラフ・スケッチ等を登録する試料を選択して、[次へ]を押します。



7 [データシートに含まれるグラフ、供試体スケッチ等の画像データ]を選択して、[次へ]を押します。

次ページへ

続き ↓

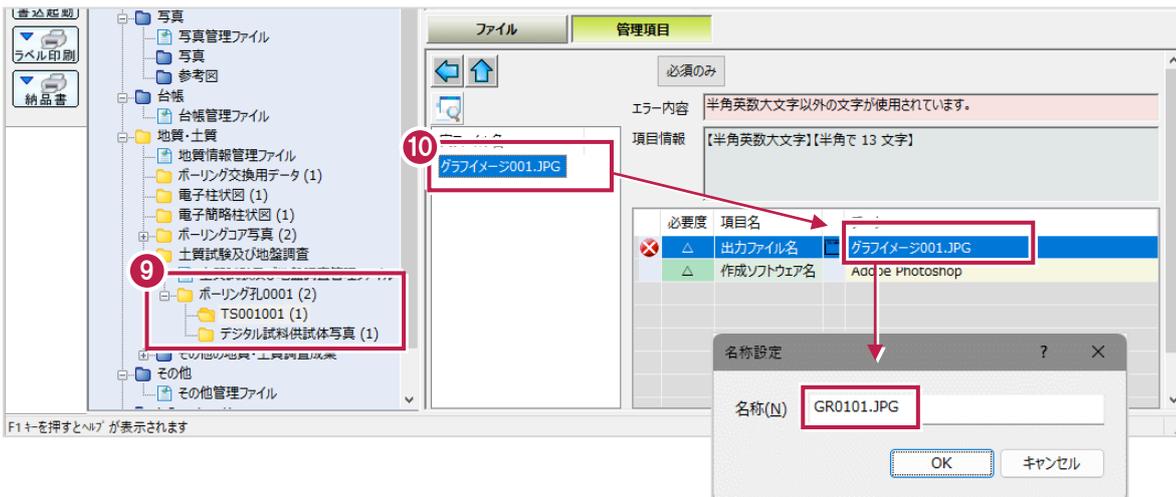


8 グラフ・スケッチ等を登録する電子データシートを選択して、[OK]を押します。

9 選択した電子データシートが登録されているフォルダ内の「試料及び試験ごとのサブフォルダ」(¥TSNNNMMM)に、画像データが登録されます。

10 登録された画像データを選択して、出力ファイル名を修正します。

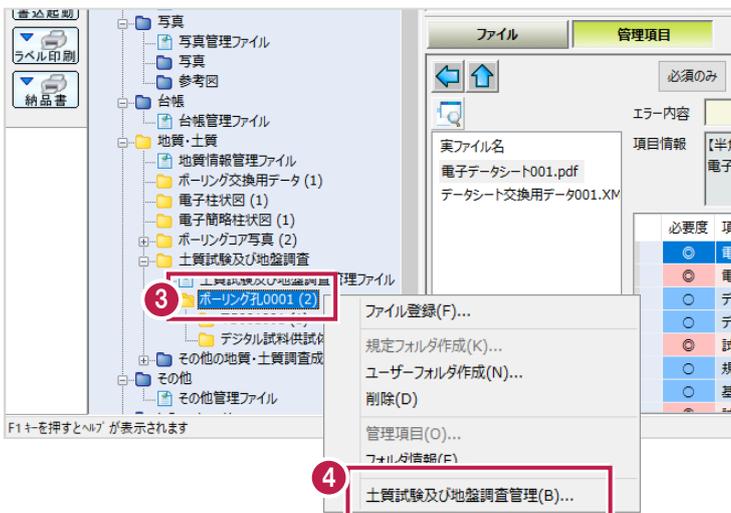
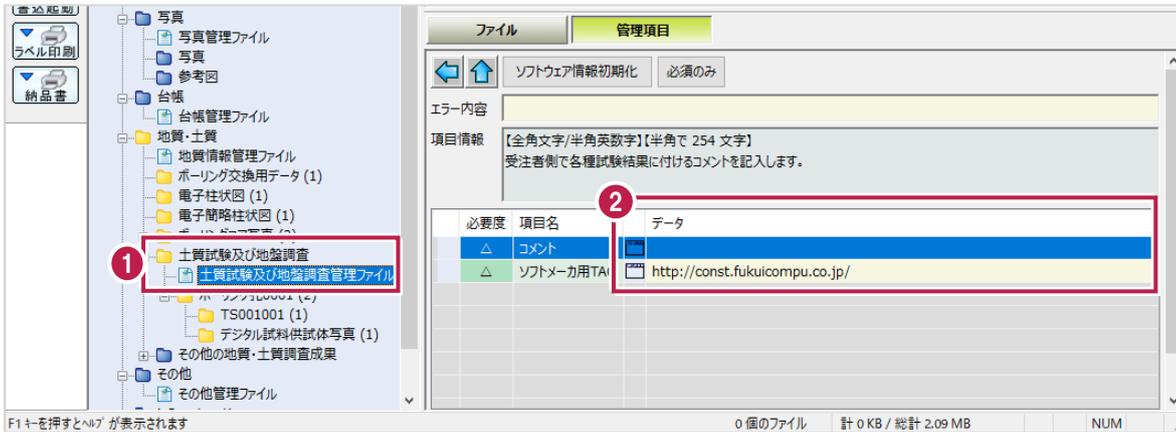
↓



土質試験及び地盤調査ファイルの作成

土質試験及び地盤調査管理ファイル(GRNDTST.XML)
土質試験結果一覧表データファイル(STBNNNN.XML)

土質試験及び地盤調査管理ファイル(GRNDTST.XML)と土質試験結果一覧表データ(STBNNNN.XML)を作成します。(NNNNは番号)



- 1 ツリー部で、「土質試験及び地盤調査管理ファイル」(GRNDTST.XML)を選択します。
- 2 管理項目を入力します。
- 3 ツリー部で、「ボーリング孔フォルダ」(¥BRGNNN)を選択します。
- 4 マウスを右クリックします。表示されたポップアップメニューから、「土質試験及び地盤調査管理」コマンドを選択します。

次ページへ

続き ↓

管理項目 - 土質試験及び地盤調査管理

5

フォルダ名(A) BRG0001
 地点名(B) B-1
 ボーリング交換用データファイル名(C) BED0001.XML
 電子土質試験結果一覧表ファイル名(X)
 土質試験結果一覧表データファイル名(Y) STB0001.XML 出力する(U)

位置情報
 経度(D) 135 度 49 分 58.2000 秒 ①座標の取得(B)...
 緯度(E) 34 度 59 分 53.2000 秒 ②座標の貼り付け(S)
 標高(E) 0.23
 測地系(Q) 02

位置情報コメント
 No. コメント
 1
 2
 3
 4

6

試料番号(G) 001
 追加(H) 削除(I) 結果入力(J)... 名称設定(K)...

試料ファイル登録ファイル(L)
 出力ファイル名 サイズ 更新
 TS001001.PDF 30 KB 200...

未関連付けファイル(P)
 登録ファイル名 サイズ 更新

<登録(M) 削除(N)-> 並替(O)...

土質試験結果一覧表(Z)... OK キャンセル

5 「管理項目-土質試験及び地盤調査管理」ダイアログが表示されます。

「土質試験及び地盤調査管理ファイル」(GRNDTST.XML)の各項目に、データを入力します。

6 「試料」で番号を選択し、「結果入力」ボタンを押します。



土質試験結果一覧表データ(試験結果)

7

孔 BRG0001
 試料番号 001

項目名	データ	データ表現	データ長	記入内容
試料番号	T001	全角文字/半角英数字	254	試料番号を入力します。
試料番号	1	半角数字	3	試料番号を入力します。(試料番号1の場合は「1」)
試料採取情報	0	半角数字	1	試料採取情報をコードで入力します。「乱れの少ない試料
上端深度	11.00	半角数字	6	試験において使用したサンプル・供試体の上端深度を記す
下端深度	11.80	半角数字	6	試験において使用したサンプル・供試体の下端深度を記す
試料の状態		半角数字	1	採取した試料を開封したときの状態を別途定めるコード表
湿潤密度		半角数字	5	試料の湿潤密度を入力します。整数部1桁、小数点以下
乾燥密度		半角数字	5	試料の乾燥密度を入力します。整数部1桁、小数点以下
土粒子密度		半角数字	5	試料の土粒子の密度を入力します。整数部1桁、小数点以下
自然含水比		半角数字	5	試料の自然含水比を入力します。整数部3桁まで、小数点以下
間隙比		半角数字	6	試料の間隙比を入力します。整数部2桁まで、小数点以下
飽和度		半角数字	5	試料の飽和度を入力します。整数部3桁まで、小数点以下
石分		半角数字	5	石分の組成比を入力します。整数部3桁まで、小数点以下
礫分		半角数字	5	礫分の組成比を入力します。整数部3桁まで、小数点以下
砂分		半角数字	5	砂分の組成比を入力します。整数部3桁まで、小数点以下
シルト分		半角数字	5	シルト分の組成比を入力します。整数部3桁まで、小数点以下
粘土分		半角数字	5	粘土分の組成比を入力します。整数部3桁まで、小数点以下

CBR(G) 修正CBR(H) コーン指数(I) その他(J)
 透水(L) 圧密(M) 一軸圧縮(N) せん断(O)

OK キャンセル

7 「土質試験結果一覧表」ダイアログが表示されます。

「土質試験結果一覧表データ」(STBNNNN.XML)の試験情報を各項目に入力し、「OK」を押します。

各ボタンで試験の項目を選択します。

次ページへ ↓

続き ↓

管理項目 - 土質試験及び地盤調査管理

フォルダ名(A) BRG0001
地点名(B) B-1
ボーリング交換用データファイル名(C) BED0001.XML
電子土質試験結果一覧表ファイル名(X)
土質試験結果一覧表データファイル名(Y) STB0001.XML 出力する(L)

位置情報
経度(D) 135 度 49 分 58.2000 秒 ①座標の取得(B)...
緯度(E) 34 度 59 分 53.2000 秒 ②座標の貼り付け(S)
標高(E) 0.23
測地系(Q) 02

位置情報コメント
No. コメント
1
2
3
4

試料
番号(G)
番号 試料なし 001
追加(H)...
削除(I)
結果入力(J)...
名称設定(K)...

試料ファイル
登録ファイル(L)
出力ファイル名 サイズ 更新
TS001001.PDF 30 KB 2009

未関連付けファイル(E)
登録ファイル名 サイズ 更新

<-登録(M)
削除(N)->
並替(O)...

土質試験結果一覧表(Z)...

OK キャンセル

8 [管理項目-土質試験及び地盤調査管理]ダイアログに戻ります。

[土質試験結果一覧表]ボタンを押します。

基礎情報・標題情報

基礎情報
公開フラグ コード(X) 1: 公開可
※「公開不可」の場合は、その理由を備考欄に必ず記入して下さい。
公開フラグ 備考(Y)

標題情報
調査名(A) 地質検査
整理年月日(B) 令和 5年 10月 19日
整理担当者(C) 福井太郎
調査業者名(D) 福井コンピュータ
発注機関名称(E) ○○県○○土木事務所

位置情報
経緯度取得方法_コード(E) 02
経緯度取得方法_説明(G))分の1の地形図を0.1mm単位で読み
経緯度読取精度(H) 2
ローカル座標(I)

コメント
No. コメント
1
2
3

OK キャンセル

9 [表題情報]ダイアログが表示されます。

「土質試験結果一覧表データ」(STBNNNN.XML)の標題情報を各項目に入力し、[OK]を押します。

結果入力(J)...
名称設定(K)...

土質試験結果一覧表(Z)...

OK キャンセル

10 [管理項目-土質試験及び地盤調査管理]ダイアログに戻ります。

[OK]を押して閉じます。